

むくらむくら

令和 6 年 12 月吉日発行

第 31 号

社会福祉法人桜友会

児童心理療育施設 桜学館

〒501-3932 岐阜県関市稲口 777 番地 1

Tel 0575-24-0050 Fax 0575-24-0051

ごあいさつ



桜学館施設長 児玉 俊郎

四季を感じることもない毎日を送っております。男の子たちはサッカー練習に毎日汗を流しています。県内で行われる児童福祉施設の Y リーグに参加するようです。また、中学生男子が昨年に続いて焼きそばづくりに励んでいます。中部学院の関キャンパスの「楽しみん祭」、各務原キャンパスの「学びの森フェスティバル」にも出店し、250 食以上を売上完売しました。参加した職員も子どもたちも満足した顔で私に報告してくれました。

夏休みには、①毎日やり続けたこと ②生活に役立つモノづくり ③百人一首大会を企画しました。夏休みの終わりに、子どもたちが参加した企画の優秀賞を発表しました。特に百人一首は、小学 6 年生女子と中学 1 年生男子の白熱した戦いになり、わずかの差で中学 1 年生男子が優勝しました。小学 6 年生女子は予想以上検討をし、周りの子どもに励まされ、みんなの笑顔が見られたことがとてもうれしかったです。

11 月 28 日分級の文化祭がありました。子どもたちの秘めた力に感動しました。この力をもっと引き出していけるように、日常生活の中で子どもたちと関わっていくように職員一同頑張りたいと思います。

文化祭の中で書かれていた俳句を紹介いたします。

★勉強も大切だよと まわりの声に 雑念払うと 教科書を見る

★新紙幣 刷られる姿 目の前に 何を買えるか 夢を見る

いかがでしょうか。次は詩です。

怖い本をよんだとき いつも見ているはずの景色が 怖い景色になるときがある

楽しい本をよんだとき さみしげな景色も 楽しげな景色になるときがある

面白い本をよんだとき つまらない景色も 面白そうな景色になるときがある

笑顔が一番！ 😊 **笑顔が生まれる安心を！**

＜これからの課題＞

※子どもたちの笑顔を見るために、大人のネットワークづくり。(福祉と教育と医療)

※子どもたちに寄り添えるための力を職員とともに学び続けます。(アセスメント力)

※子どもたちに関わっていただける仲間を募集しております。(文化活動・学習支援など)

1.子ども一人ひとりにしっかりと向き合い、ひとりひとりの自己実現に向かって共に支援を行います。

2.子ども一人ひとりの成長・発達を願い、子ども一人ひとりに相応しい環境設定を行います。

3.子ども一人ひとりの命を大切に、子ども一人ひとりの家庭復帰を目指した地域支援を行います。

4.子ども一人ひとりの思いに耳を傾け、子ども一人ひとりを主体者として支援を行います。

風ユニット



夏の暑さが過ぎ、冷え込む毎日ですが、子どもは風の子と言うのでしょうか、毎日元気よく生活しています✧

風ユニットでは前期に引き続き自由調理を通した食育や、ユニットの行事で牧歌の里・BBQ・知多半島へ行き、自然を満喫しました。

また、後期から個別活動を通して職員と子どもとでアップルパイを作ったり、ドリームシアター岐阜へ行ってきたりと新たな試みもしています。

今年もあっという間に終わってしまいますが、子どもたちが子どもたちらしく大きくなれるよう、職員一同サポートしてきます。



星ユニット



星ユニットは結成してから、1人が加わり子ども5名で生活をしています。年齢層は低学年が増えたことで、年齢ごとに行事を分けて楽しむことに取り組んでいます！高学年さんはお姉さんらしく少しずつなっていっているかな？

ユニットのほとんどの子が後半の生まれ月のため、ひと月に2回も誕生日会をしました。職員が腕をふるって作る料理は、誕生日の子のリクエストメニューです！いつも以上に、たくさん食べてくれて嬉しい♪

光ユニット



11月、光ユニットで大学祭へ焼きそば屋台を出店しました。
この日のために、コツコツ準備や練習した甲斐あって、200食以上を販売して完売！

子ども達はとても達成感を抱いてました。

このような大きなイベント以外にも、普段は野球やサッカー等、たくさん体を動かして元気いっぱい遊んでいます♪

空ユニット



空ユニットは体を動かすことが大好きな男の子6人で生活しています！学館のグラウンドで毎日サッカーや鬼ごっこなどをして、アクティブに活動しています。

今年度のメンバーは子どもの年齢層が広いので、年齢に合わせた活動を取り入れ、周りの視線を気にすることなく、のびのびと過ごせるような活動も行いました。スポーツ観戦に行ったり、大きな公園に行って遊んだり、充実した毎日を過ごしています(o)/

来年度に向けて更なるレベルアップを目指して頑張ります！



小学生から高校生まで一緒に生活する個性豊かな

虹ユニット

ボルダリング体験

一緒に笑ったり、時にはケンカしたりするけどこのデコボコ感を

楽しんでいるユニットです！

ええ眺めやな～

関市はなび大会

夏の郡上観光

～暑い夏を乗り越えて～

8月にはみんなで郡上へ涼みに行ったり、関市の花火大会を見に行ったりとそれぞれの夏を満喫しました。そして、10月にはボルダリングに出かけて頭と体をフル活用！今年も残りわずかですが、虹ユニット全員健康に2025年を迎えたいと思います！



今年の夏のお楽しみ会は
各ユニットで考えた屋台をだしました！
子どもたち自身が店番をして
かき氷やフランクフルトなどを食べたり、
射的やスーパーボールすくいなどを楽しみ、
あっという間に時間が過ぎてしまいました。



第2部は小・中分かれて水遊び！
白熱した戦いになりました。
後期はクリスマス会も控えているので、
子ども実行委員を中心に準備をしていきます！



レク委員





桜学館分級のあゆみ



小中合同文化祭に向けて



令和6年11月28日（木）に、桜ヶ丘小中学校 分級桜の会～文化祭～が開催されます。今年度のスローガンは、児童・生徒の願いを込めて『明楽最協』に決まりました。これは、文化祭への思いである「明るく・楽しく・最後まで・協力する」を実行委員会が造語にして考えました。このスローガンをもとに、分級の児童・生徒が心をつにし、毎日練習を重ね、当日に向け取り組んでいます。

小学生の部



小学生は、文化祭に向け、音楽「合奏」や総合「SDG sの調べ学習」、体育「ダンス」に取り組んでいます。

合奏では、『Paradise Has No Border』の曲を全学年で披露します。さまざまな楽器と音を合わせることは、とても難しいですが、仲間の音をしっかりと聴きながら演奏に取り組んでいます。

SDG sの発表では、SDG sの持続可能な開発目標である「17の目標」について、1学期に調べた中から、児童が興味関心のある目標「1 貧困」、「12 作る責任 使う責任」、「13 気候変動」の3つに絞り、企業や自治体の取り組みや自分たちにできることはないかなど、詳しく調べ、まとめたことを、参観してくださる方々に伝え、「SDG sの輪」を広げて行こうと考えています。

ダンス『アドベンチャーイ』『リビング・イン・カラー』では、児童たちが2つの曲を気に入っており、楽しんで踊っています。現在は、目線や手の動き等細かい所にも気を付けて演技しています。

一人一人が精一杯の力を発揮し、文化祭を大成功させることでしょう。

また、授業で取り組んできた図工作品や国語（俳句）作品等を展示し、お客さんに楽しんでいただきます。



【ダンスの様子】

中学生の部



中学生は文化祭に向けて太鼓やバンド、ダンスに取り組んでいます。

今年度も分級太鼓という伝統を引き継ぐことができうれしく思います。太鼓では、仲間同士で協力して太鼓の準備をしたり、休み時間には仲間同士で誘い合ったりして太鼓練習に一生懸命取り組んでいます。

難しい太鼓Bにも全員で挑戦します。日々の練習の成果を自信に変え、迫力のある演奏を楽しみにしてください。

バンドでは、放課後に自主的に練習し、一人一人が自分の楽器に責任をもち、文化祭まで練習を重ねてきました。文化祭当日は、心を1つにし、会場全体を巻き込んで、素晴らしい演奏をみなさんに披露します。

ダンスでは、分からないところは教え合ったり、何度も繰り返し練習したりしました。難しい振りや隊形移動にも挑戦し、完璧に近づけるために放課後にダンスの練習を繰り返し行いました。文化祭では、練習の成果を発揮し、みなさんを魅了することでしょう。



【分級太鼓の様子】

小中合同合唱



今年度は、小中合同合唱に挑戦します。小学生は大きな口を開けて元気よく、中学生はリズムを意識して合唱します。今回はSEKAI NO OWARIの『プレゼント』を歌います。練習が進むにつれて、子どもたちの歌声に自信がついてきました。子どもたちの頑張りが日に日に形となって表れてきています。文化祭当日の合同合唱では、全員で心をつにして美しいハーモニーを響かせます。

子ども家庭支援センター「とも」より

初冬のみぎり、皆様には、ますますご清祥でご活躍のこととお喜び申し上げます。今年度、子ども家庭支援センター「とも」では、より一層、里親制度の普及・啓発活動に励んで参りました。岐阜県初の里親カフェを実施することが決定し、それに伴い提供するコーヒーを作成しました。中濃圏域 54 世帯の里親さんに里親のイメージを聞き、「カフェ・アダチ」監修のもと、コーヒーの 5 要素、コク、甘み、酸味、香り、苦みに落とし込み、優しい味わいの里親ブレンドが完成しました。10 月の「里親月間」では、中部学院大学の「たのしみん祭」や美濃加茂市の「健康・福祉すこやかフェスティバル」に出店させていただき、多くの方に目や耳だけでなく、味覚でも里親とは何かを知っていただく機会となりました。その際には、里親制度だけでなく、その根幹を成すこどもの権利についても知っていただけました。今後も、ともは地域を“ともに”を大切に児童福祉に貢献できるよう邁進してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

寄付、ボランティアのお礼

岩田電気株式会社様より図書カード 1 万円分を、株式会社 GROWUP 楯様・小酒井様よりさつまいも掘りを子どもたちに体験させて頂いたり、関警察署様にはソフトボール交流試合を行って頂きました。またいちょう庵様よりキッチンカーで子どもたちにラーメンを提供して頂きました。子どもから「何杯も食べれるおいしさだった」「ラーメンの上のお肉がとても美味しかった」と話し大変喜んで食べる姿がありました。沢山の方に寄付やボランティアとして活躍して頂きましたことをこの場をお借りして心よりお礼を申し上げます。



編集後記

暑く長すぎた夏、あっという間の秋、そして冬の到来。四季を感じる暇がなかったように感じます。子どもたちは放課後に用水路でエビを捕まえたり、サッカーをするなど外遊びを楽しんでいます。体調を崩しやすい季節の変わり目、年末年始に向けてお忙しいと思いますが、お体にご自愛してお過ごし下さい。

桜学館での活動を多くの方に知って頂くためにインスタグラムを始めました。もしよろしければご覧下さい。

広報紙「さくらさくら」へのご意見、ご感想をお寄せください。

(E-Mail : sakura@hohoemi.or.jp) 広報委員 川治・清水



@SAKURAGAKKAN_0601